



DM-5

USER'S GUIDE



安全の為に確認下さい

JINBEI DM-5をご購入いただき、誠にありがとうございます。本取扱説明書には組立、安全なご利用に関する大切なご案内が記載されています。本書を熟読の上、正しくご利用下さい。また、お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお役立て下さい。なお、本書の無断転載・2次使用を禁止します。

- ⚠ 可燃性液体が接触する可能性のある環境、雨天時や水中のご利用、保管は禁止です。
- ⚠ 強磁界、及び粉塵の多い環境でのご利用、保管は避けて下さい。
- ⚠ 結露を防ぐため、温度変化の激しい場所や炎天下の車中などでのご利用、保管は避けて下さい。
- ⚠ フラッシュチューブやモデリングランプは素手で触らないで下さい。
- ⚠ 筐体内への金属パーツの混入等にお気をつけ下さい。
- ⚠ 濡れた手や濡れた布で製品に触れないで下さい。感電の恐れがあります。
- ⚠ 分解、改造、修理は禁止です。これらの形跡が認められた場合、保証期間は無効になり全ての保証対象外となります。
- ⚠ 使用する前に、ティルトハンドルをしっかりと締めてください。
- ⚠ 被写体の至近距離での発光は健康被害を引き起こす恐れがあります。絶対におやめ下さい。

その他 利用上の注意

◆無償保証期間は1年間です◆各部のネジは締めすぎないようにご注意ください。ネジが破損する場合があります◆プラグの抜き差しはプラスチック部分をしっかり持ってゆっくり行ってください◆コードを引っ張る等の行為は絶対におやめください◆小さいお子様の手の届かない環境で運用してください◆ご使用方法や環境次第ではスペック通りの性能が引き出せない場合があります◆無償保証期間は当製品の耐久性を保証するものではありません◆オムニバスを含む弊社契約店以外からのご購入品は保証対象外です。

お届け内容

- | | |
|---------------|----|
| 1. DM-5本体 | 1台 |
| 2. チューブ保護キャップ | 1個 |
| 3. 電源コード | 1本 |

- ・単品販売品のお届け内容です。
- ・セット品内容は販売サイトをご確認ください。

スペック

最大出力-----	500Ws [GN64 (別売18cmレフ使用)]	チャンネル--	16チャンネル (0-15)
リサイクリングタイム --	0.05~1秒	グループ ----	10グループ (A-J)
調光範囲-----	7f-Stop (7.0-1.0、0.1ステップ)	表示-----	高輝度液晶
色温度 (実測平均) ----	約5300K	冷却ファン--	内蔵
モデリングランプ-----	10W LED (照度1000ルクス@1m)	接続部-----	16mmメスダボ、JINBEI/Bowens互換マウント
シンクロ方式-----	JINBEI無線システム、有線、光スレーブ	サイズ-----	270 x 130 x 195mm (突起部含まず)
シンクロモード-----	無線機TR-Q6にてHSS/FP・先幕・後幕	重量-----	1.6kg

各部名称



1. ティルティングハンドル
2. フラッシュチューブ
3. 10W LEDモデリングランプ
4. ティルトロックねじ
5. アクセサリーマウント
6. アクセサリーマウントロック解除レバー
7. ライトスタンドロックねじ
8. 調節ボタン(マイナス)
9. 光スレーブセンサー
10. モデリングランプ(短押し) / チャージ完了音(長押し)
11. テスト発光
12. シンクロソケット
13. 調節ボタン(プラス)
14. 無線設定(長押し:有効無効 / 短押し:無線モード遷移)
15. 機能設定 (GR/CH選択)
16. 電源
17. ACインレット
18. アンブレラホール(8mm)

LCDパネルメニュー名称



19. 無線アイコン:表示中のみ無線による操作が可能(ボタン14の長押しでON/OFF)。
20. 無線機選択:C→N→S→F→6→0(ボタン14と調節ボタン±で設定、下表参照)。
21. 出力値:1.0~7.0(調節ボタン±で設定、0.1刻み、1/64~フル発光)。
22. グループ:A~J(ボタン15の[2回押し]と調節ボタン±で設定)。
23. チャンネル:0~15(ボタン15の[1回押し]と調節ボタン±で設定、全16チャンネル)
24. チャージ完了音:ON/OFF(ボタン10の長押しで設定)。
25. 光スレーブ:ON/OFF(ボタン14と15を同時長押しで設定)。
ON時、無線による発光不可(出力調整等は可能)。
26. モデリングランプ:消灯→出力連動→100%点灯(ボタン10で設定)。
27. 発光設定:数字なし→1→2(ボタン15の長押しと調節ボタン±で設定。[数字なし]は通常毎回発光、[1]は奇数回時のシンクロで発光、[2]は偶数回時のシンクロで発光)。

C	: TR-Q6C (キャノン用)
N	: TR-Q6N (ニコン用)
S	: TR-Q6S (ソニー用)
F	: TR-Q6F (フジ用)
6	: TR-V6
0	: TRS-V

基本操作

- ① **アクセサリをセット** ライトスタンドにセットする。リフレクター、傘、ソフトボックスなど、必要なアクセサリを装着。
- ② **電源コードを接続** 付属の電源コードを [17] に接続。国内AC100Vコンセント推奨。
- ③ **電源ON** 電源スイッチ [16] をONにする。
- ④ **設定・利用** 本書各項を参考に、各機能を設定する。
- ⑤ **電源OFF** 電源スイッチ [16] をOFFにする。コンセントの抜き差しで電源のON/OFFをしない。



アンブレラの装着について

当製品はアンブレラホール内のスプリングにてアンブレラを固定する方式を採用しております。アンブレラの種類により、挿入しづらい場合がございます。また、設置角度によってはアンブレラの芯が滑る場合もございます。

1.リフレクターを装着する

マウントの爪と溝を合わせて挿入し、向かって時計回りにリフレクターを回す。「カチッ」とロック音が聞こえたら固定完了。
※装着方法はJINBEIマウントのアクセサリ(ソフトボックスなど)と共通。

2.リフレクター位置確認

ストロボ本体のアンブレラホール(18番)と、リフレクターのアンブレラホールの位置が合致している事を確認する(図の破線参考)。

3.アンブレラを装着する

ストロボを片手で抑え、アンブレラを「リフレクターとストロボ本体」のアンブレラホールに挿入する。アンブレラの芯がホールを貫通すればOK。
※ロックバネ通過時が硬いため、ゆっくり力をかけて作業する。

【完成図】

芯の固定位置(深さ)によって、光質が変わる。

アンブレラの形状

アンブレラ芯の先端が、直角になっているものは装着しづらい。

無線設定方法 (TR-Q6 for Canon/Nikon/Sony/Fujifilm)

別売りの無線機「TR-Q6」を使用し無線シンクロを利用する際には、対応各社のハイスピードシンクロが利用可能です。一部機能についてはリモコンから設定、またはリモコン上の設定が優先されます。

操作手順	操作ボタン	操作内容
①無線設定	14, 8, 13	ボタン14を長押しして無線機能を有効化、調節ボタン8、13にて無線モードを「C/N/S/F」から選択
②CH/GR設定	15, 8, 13	ボタン15を押してCH、またGRを選択状態にし、ボタン8と13で任意の値に設定
③その他設定	10	ボタン10を長押ししてチャージ完了音を設定。

※出力、モデリングランプ設定等はTR-Q6の設定値が上書きされる。
※TR-Q6上からモデリングランプのON/OFF可能。

無線設定方法 (TR-V6)

別売りの無線機「TR-V6」を使用し無線シンクロを利用する際には、最大10グループまでの多灯制御が可能です。一部機能についてはリモコンから設定、またはリモコン上の設定が優先されます。X接点以下の同調速度でのみ同調出来ます(「TR-Q6」とは異なり、ハイスピードシンクロは対応しません)。

操作手順	操作ボタン	操作内容
①無線設定	14	ボタン14を長押しして無線機能を有効化、調節ボタン8、13にて無線モード「6」を選択
②CH/GR設定	15, 8, 13	ボタン15を押してCH、またGRを選択状態にし、ボタン8と13で任意の値に設定
③その他設定	10	ボタン10を長押ししてチャージ完了音を設定。

※出力、モデリングランプ設定等はTR-V6の設定値が上書きされる。
※TR-V6上からモデリングランプのON/OFF可能。
※無線機TRS-Vを使用の場合は、無線モード「0」を選択する(GR管理不可)。

機能特徴・注意事項

- ◆ **HSS(高速シャッター)** : TR-Q6により対応。カメラ機種、設定、環境、ストロボ設定などにより、効果が異なる場合があります。ノーマルモードと比較して色温度が若干上がります。出力範囲が4.0-9.0に制限されます。
- ◆ **Wireless JINBEI TR(無線)** : 国内認証取得のシステムです。
- ◆ **OverHeatProtection(安全回路)** : 内部温度計で常時計測し、オーバーヒート時には自動的に機能を停止します。OHの表示が現れたら、通常温度になるまで使用しないで下さい。その際、電源を落とさないで下さい(冷却ファンを止めないため)。
- ◆ **トリガー(無線機)使用時の出力制限** : Canon機等において、カメラのドライブモードが「連写」の時、ストロボの最大出力値が4.0等に制限されます(チャージ不足での発光を防ぐため)。ドライブモードを「1枚撮影」にてご使用ください。